



ワンポイントアドバイス 第5回「二語の関係」

◇日頃の成果が問われる？ 「二語の関係」

日本語検定では、「二語の関係」について問う問題が出題されることがあります。「二語の関係」の問題は、それぞれの言葉の意味と、その関係の二つが正確にわからないと解けない、語彙力（ごいりょく）が問われる問題です。語彙力は練習問題を解くことなどによって磨かれるものではなく、日頃の読書など言語活動の成果によって培われるものですから、対策がしにくいと感じる方もいらっしゃるのではないのでしょうか。

そこで、今回は検定問題で出題されたさまざまな関係の中から、特に頻出する関係をご紹介します。

◇「二語の関係」ではこれをチェック！

*ある言葉と、それに似た言葉（類義関係）

【合点－納得】【十字路－四つ角】【帰り道－復路】など

*ある言葉と、それと反対の意味の言葉（対義関係）

【絶対－相対】【顕在－潜在】【豊漁－不漁】など

*ある物事と、それに含まれるもの（上下関係／包含関係）

【惑星－地球】【貨幣－紙幣】【鳥－すずめ】など

*ある動作・行為とその対象となる事柄

【治療－疾患】【輸送－貨客】【貿易－外国】など

*ある動作と、それをを行う場所

【乗降－プラットホーム】【台所－調理】など

この他に、「道具とその用途」や「物とその一部分」、「名前とその敬称」など、語と語の関係にはさまざまなものがあります。新しい言葉に出会ったら、その言葉をこれらの関係に当てはめて、どんな言葉が入るのか考えてみるといいですね。

[一覧に戻る](#)